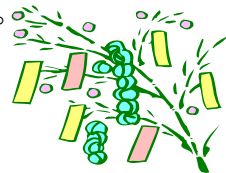




<ひとこと>七夕に願いをこめて...今年こそ素敵な恋人ができますように。



高次脳機能障害～集団リハビリテーション・羅心版の紹介

東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」の主催で行われた勉強会(6月28日)、講師に橋本圭司先生をお迎えし、たいへん楽しいものとなりました。後半の「羅心版」を実際に行いながらの紹介は、笑いあり感動あり。とても基本的なことを押さえたもので、高次脳機能障害者だけでなくリハビリテーションとして使えるのではと感じました。

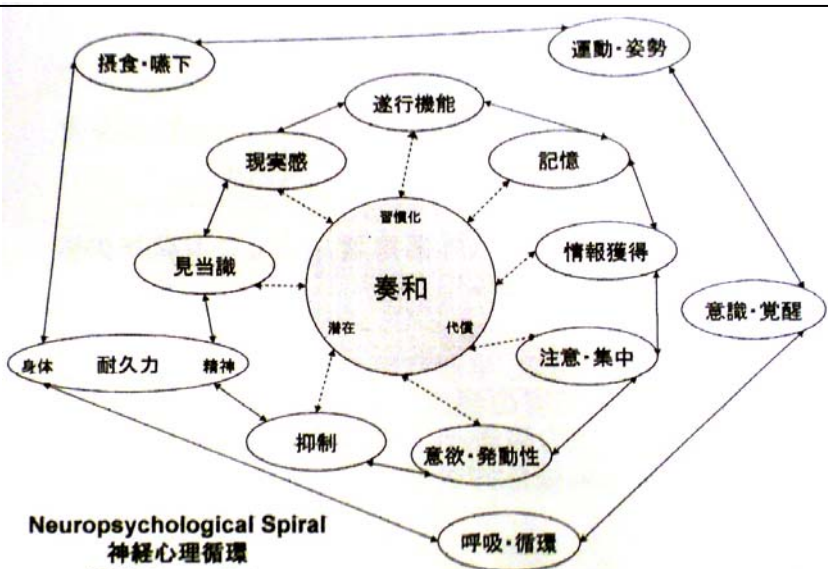
『リハビリテーションの鍵は、神経心理循環をいかにコントロールできるかにかかっている』

「正の神経心理循環」とは、呼吸・循環↓意識・覚醒↓運動・姿勢↓摂食・嚥下が整つてこそ。耐久力がないと高次脳機能(社会生活)の領域にいくのは難しいために、その循環を図式したものです。

高次脳機能障害者はいへん疲れやすいので、まず起きていられるようになる、姿勢は持続力の表れ(よい姿勢を保つことは高次脳レベルが高い)、バランスの良い食事を摂る、がまず前提であること。

羅心版の基本ルール1. 時間を(決めて)守る 2. ポジティブフィードバック 3. 楽しく過ごす

これはSSTなどでもおなじみのことです。さてそのやり方は?お知りになりたい方がいましたらご一報ください。実際にやってみましょう!



「生活を支える高次脳機能リハビリテーション」橋本圭司著(三輪書店)から引用

ちい地域で「14-1-1」



知的に障がいのある方を対象にしている地域活動支援センターに勤務しています。田村と申します。

この度「身近な相談者」というお題をいただき、日頃から「相談」ということを特に気に留めず過ごしていることに気がつきました。しかし、私の場合「相談」ではなく「人に話す」ことをしているようです。

話す内容も家庭のことや、仕事のことなどで内容もかなりオープンに話しています。話す人も「そこにいる人」で特定の人はいません。最近では子供の教育費がいくらか

るのか、「そこにいる人」とにかく聞きました。同僚もオープンな人が多く気軽に答えてくれるので助かっています。

結論は自分の収入から比べる大変な額で知らなきやよかったです、知つてよかったですという両方の思いがあります。話を話すのはすっきりしませんが、聞かれるひと、聞かされる人には迷惑かもしれませぬが、

ところで、みなさんのご家庭は...

社会福祉法人 彩会
 地域活動支援センター
 Zazaby
 管理者 田村真

6/12(金)かしわ障害者をむすぶ会 総会

◆むすぶ会規約 改正◆

- (事務所)
 第2条 本会は事務所を柏市柏5-2-17 柏市地域生活支援センターあいネットに置く。
 (会費)
 第14条 2 賛助会員の年会費は、一口1千円とする。

◆平成21年度事業計画◆(活動内容)

1. 来期の運営に反映するため、むすぶ会の活動の抜本的なあり方検討する。
2. 柏市との連携・協働の関係を継続して保つとともに、福祉行政、障害福祉基本計画の策定、自立支援協議会等に積極的に参画し、提言を行う。
3. 従来から進めてきた当事者や事業者、地域との交流を、さらに推進する。
4. 幅広い情報交換の場として、広報活動を推進するとともにMLを運営する。

【平成21年度 運営委員会】

- 第2回 8/19(水) ☆テーマ「多重債務」
- 第3回 10/14(水) ☆テーマ「引きこもり」
- 第4回 12月(未定) ☆テーマ「すまい、暮らし方」
- *「講演会形式」にて
- 第5回 H22.2/17(水) 今年度ふりかえり



2009年度 あいネット運営委員会 開催

今年度も年五回開催する予定のあいネット運営委員会。構成団体は昨年度と同じ団体・機関にお願いしています。見知った方も多いのですが、まずは自己紹介と所属団体の紹介。次に今後の進め方の案を出してご議論いただきました。案の特徴は、各回テーマを持ってやるのは以前どおりですが、テーマに沿ったゲストスピーカーを呼ぶこと、そして第4回目は拡大運営委員会と称して、運営委員以外の方も参加していただく企画です(図参照)。テーマは重かったり広かったりなので、ポイントをどこにするかなどこれから考えていきます。またこの紙面でも報告します。また皆さんのご意見も伺えればありがたいと思います。

障害者計画をすすめる東葛市民の会

【事務局】NPO自立生活センターK2 地域活動支援センター わたの実(担当:古賀)

でんわ/FAX04-7139-5613

【今後の予定】

平成21年9月16日(日)13~17時

場所:柏市沼南公民館

内容(予定)東葛5市行政・県と障害当事者・団体・関係者との話し合い。

6月14日 第四次障害者計画説明会 小金原市民センターにて

主催「障害者計画をすすめる東葛市民の会」

「第四次千葉県障害者計画」の説明を県障害福祉課障害者計画推進室 秋葉さんをお招きして行われました。障害者計画の概要についてのお話し。後半は会場との意見交換。

「各章の構成」

- 相談支援 権利擁護(2章)
- 子ども・成人・高齢期(3、4、5章)
- 障害福祉計画(6、7章)
- 作業部会の設置(8章)

この県障害者施策推進協議会の任期は3年×2、各専門部会の任期は1年とのこと。もし計画が出来ることから実行していくとなれば、お金のかからないところからなるのでしょうか?

私は命にちかいところからの実行を信じています。

多機能型施設 ラポール

多機能型施設ラポールには、生活介護「ホップ」と就労継続支援 B 型「ステップ」、分場施設として、初石駅から徒歩 1 分の交通の便のよい場所に、就労継続支援 B 型「グリーングリーン」があります。それぞれ 1 日平均 10 名の方が利用されています。

ちょうど昼食前にかがったので、食堂にはおいしそうなお昼ご飯が。ラポールでは、お弁当ではなく、調理師さんの手で作られた温かい食事が食べることができます。「ホップ」と「ステップ」は 1 階と 2 階に分かれて過ごしていますが、食事は一緒。皆さんの憩いのひと時です。時には「ステップ」の方が「ホップ」の方のお世話を焼いて・・・という場面もあるとか。

「ラポール」の名前の由来

「ラポールは人と人との間がなごやかな心の通った、親密な信頼関係にあることを言います。信頼関係は、利用者支援の一番の基礎であり、最も大切なものです。職員と利用者、その家族と信頼関係を結んでいきたいという思いから、この名前が出ました」



「ホリデー」の目指しているもの

「ホリデーはその名のとおり、もともとは＜障害のある方の土日の過ごし方＞のニーズに応え、休みの日に活動をはじめました。今後も、利用者のニーズにどのようにして応えていくかを考え、本人はもちろん、家族にもゆとりを持ってもらい、在宅生活を続けていただけるようサポートしていきます」

特定非営利活動法人 ホリデーに開設した『多機能型施設 ラポール』取材しました。お忙しい中、対応して下さったラポールの皆さま、本当にありがとうございました。



ホリデーからのお知らせ

ラポールの分場施設「グリーングリーン」には、現在若干名の空きがあります。利用を検討されている方は、お気軽にご連絡ください。
ラポール 1 階で、リサイクルショップをオープンする予定です。お楽しみに(^ ^)



多機能型施設 ラポール

【本体施設】生活介護「ホップ」 就労継続支援B型「ステップ」
住所：柏市大室 1099-1 電話：04-7135-5606
【分場施設】「グリーングリーン」
住所：流山市西初石 3-101-25 電話：04-7152-0195

お知らせ

◇◇◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(04-7165-8707)までご連絡ください◇◇◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
◆メンタルヘルスネットワーク 講師：冬瓜幸子さん (初石病院看護部長) 講演：「精神科救急について・基幹病院について」	7月8日(水) 19:00 ～21:00	柏市末広町 4-7 丸金第2ビル3階 柏メンタルクリニック 3階ダイケア	無料 (当日、飲み物代として150円)	不要	柏メンタルクリニック 柏市末広町 4-7 丸金第2ビル3階 でんわ 04-7155-7261 (担当：後藤)
◆不登校児童・生徒を待つ親へ相談会 講師：荒井輝雄先生 (元柏市立第五小学校校長、家庭調停員、千葉県教育委員会指導室長) 講演：「悩みを持つ親との出会いで感じたこと」	7月16日(木) 14:00 ～17:00	ニッセイ・ライフプラザ 柏 セミナールーム (柏駅東口駅前 三井住友銀行4階)	無料	不要	NPO法人教育支援三アイの会 柏市柏 3-6-14 増谷第1ビル 4階 402号 でんわ 04-7162-2130 FAX 04-7162-2140 http://www.geocities.jp/kashiwa_kosodate/
◆ステップアップ講演会 第9弾 講師：成田奈緒子さん(文教大学) お話：「発達障害のある子どもの子育て-脳と心の豊かな育ち-」	7月19日(日) 13:30(開場) 14:00 ～16:00	さわやかちば県民プラザ 大研修室 柏市柏の葉 4-3-1	1,000円 (当日、受付にて)	必要	主催：柏市発達障害者支援協議会 事務局 NPO法人自閉症サポートセンター でんわ/FAX 04-7105-7299 メール js-center@jcom.home.ne.jp

◇ボランティア募集◇ いろいろム〜ブ

「いろいろム〜ブ」は、アットホームでこじんまりとした、障害児(者)関連の事業所に行き、ボランティアをしたり、事業所とは関係なく、障害児(者)の方と個人的な関係でボランティアをしたり、イベントや学習会などをするサークルです。

まきのんち
流山市東深井 688-63
でんわ 04-7155-7261
ケータイ 090-9152-1424
お気軽にお問い合わせ下さい。